

令和8年3月11日

美咲町長 青野高陽様

美咲町振興計画審議会  
会長 赤木克己

美咲町次期振興計画について（答申）

令和7年11月26日付けで諮問のありました美咲町次期振興計画について、本審議会では慎重な審議を重ねた結果、第4次美咲町振興計画として妥当であると認め、下記意見を付して答申とします。

なお、振興計画の推進にあたっては、人口減少により持続可能な行政運営が困難になることが予測される将来を見据え、町長をはじめ職員各位が危機感を持って、町の将来像である「ひと 輝くまち みさき」の実現に努められるよう期待します。

記

1 こどもの笑顔があふれるまちづくり

こどもは町の宝。「こどもの笑顔はみんなの幸せ 子本主義 美咲町」のスローガンのもと、若者の出会いから結婚、出産、子育て、教育等それぞれの分野において横連携による一貫した協力体制を構築、強化し、こどもの笑顔があふれるまちづくりの推進を図りたい。

2 みんなが笑顔でつながるまちづくり

地域づくりは、町民一人ひとりが「自分事」として考え、共に支え合い、官民の連携と信頼関係のもと協働・共創により進めていくことが重要である。

そのため、自治会や小規模多機能自治組織をはじめとする関係組織等と連携しながら、第4次美咲町振興計画の理念を周知し行政情報の共有化を図るとともに、一人ひとりが町の主役として貢献できる仕組みづくりに取り組まれない。

### 3 自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり

こころとからだの健康は年齢や障がいの有無に関わらず、笑顔で暮らすための基礎であり、これらを守るためには地域全体で一人ひとりを支え、また、一人ひとりが役割と生きがいを持って地域を支える体制が必要である。

そのためには、日頃からの健康づくりや各種制度等の充実が必要不可欠であることから、地域や各種関係団体等の横連携を強化するとともに、情報発信力を強化し、自分らしく生き活きと暮らせるまちづくりの推進を図られたい。

### 4 安全安心に笑顔で暮らせるまちづくり

近年、ゲリラ豪雨や大規模地震などによる災害が激甚化しており、町民の生命と身体を守るためには行政だけでなく地域住民も含めた防災・減災対策が必要である。また、電話や訪問による詐欺被害は全国で後を絶たず被害額も増加傾向となっている。

これらのことから、防災・減災対策を一層強化するとともにインフラの適正管理を実施し、常日頃から非常時に対応できる備えを行政だけでなく住民一人ひとりが考えることができるよう周知徹底を図られたい。また、防犯・交通安全対策についても、年齢性別関係なく家庭内で話し合う機会を設けるとともに、地域内や関係機関へ相談しやすい体制づくりを推進し、被害者が発生しないよう積極的な啓発活動による周知を図られたい。

### 5 にぎわいと笑顔があふれるまちづくり

美咲町には豊かな自然や文化、歴史がありつつ、豊かな田園風景が広がり古き良き田舎を思い起こさせる町となっている。

しかしながら、少子高齢化や担い手不足により荒廃農地の増加や商店等の減少が進行しており、買物弱者の増加や景観の悪化、観光客の減少等、他分野にわたり影響が出ている。

このことから、商工会をはじめ、農林業団体や関係機関と連携し、美咲町が持つ資源や人材、魅力を最大限発揮できる経済基盤を確立しつつ、労働者が目

標とやりがいを持って多様な働き方が実現でき、活力あふれるまちづくりの推進を図られたい。

#### 6 未来の笑顔につながるまちづくり

今後一層の人口減少や収入縮小を見据え、デジタル化の推進や行政機能の集約化など、住民への丁寧な説明を行いながら、計画に位置付けた政策・施策を着実に実施・検証するとともに、行財政改革によるビルド&スクラップのメリハリをつけた事業展開を行い、住民の利便性と行政の効率化を高め、理念である「賢く挑戦するまち」の実現を図られたい。